

科目区分：人文・社会科学科目

授業科目名	経済と経営（会社の一生）				学期	曜日	校時
英語名	Economics and Business (a life of corporation)						
担当 教員名	菅家正瑞	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	水曜日 2校時
授業のねらい・内容・方法							
経営学を初めて学習する受講者に対して、企業の誕生からその死（倒産）に至るまで（企業の一生）というアプローチから、経営学の基礎的知識と経営学の学問的概要を提示し、企業の実践活動のある程度理解できること（例えば、日本経済新聞の経営関連記事が読めるようになること）を目的とします。							
テキスト、教材等							
小松章、『基礎コース 経営学』、新世社、2003年。							
対象学生	成績評価の方法				教員研究室		
全学部	各章ごとに設定されている演習問題についてのレポート（50%を予定）と期末試験（50%を予定）および授業への参加状況（+）などを総合して評価します。						
授業計画							
<p>第1回：イントロダクションとプロローグ（経営学の学び方）；本講義の目的と内容、経営学の学問的特質などについて説明します。</p> <p>第2回：1．創業；経営学の研究対象である企業の創業について述べます。</p> <p>第3回：2．生産管理；企業の基本である生産現場を機能させる「生産管理」について説明します。</p> <p>第4回：3．職能と組織；企業規模拡大に伴う大量の人的経営資源を適切に配分する「組織」を考えます。</p> <p>第5回：4．人的管理；組織を動かすために配置された個人に働きかける企業の対策について述べます。</p> <p>第6回：5．株式公開；一人前になった企業の証しである株式公開（証券取引所上場）について説明します。</p> <p>第7回：6．株式会社金融；株式会社の資本調達方式の多様性とその効果的利用について述べます。</p> <p>第8回：7．財務管理；調達した資本を効率的に運用することについて考えます。</p> <p>第9回：8．市場創造；企業の成長的発展に不可欠な市場の創造について述べます。</p> <p>第10回：9．事業の展開；企業を成長・発展させる既存事業の拡大や新規事業の開拓について説明します。</p> <p>第11回：10．国際経営；企業を海外に進出させ海外で事業を展開する国際経営について述べます。</p> <p>第12回：11．企業の統治；社会の利益（社会的貢献）と企業ガバナンス（統治）について述べます。</p> <p>第13回：12．社会的責任；経済的環境のみでない社会的・自然的環境に配慮する企業責任を考えます。</p> <p>第14回：13．倒産とエピローグ；企業はゴーイング・コンサーン（Going Concern；継続事業体）ですが、倒産するリスクもあることを認識し、最後に「経営学」の体系とその発展的学習について説明します。</p> <p>第15回：期末試験（予定）</p>							
講義期間中に予測し得ない状況変化が起こった場合には、上記の講義予定や内容を変えることもありうることを承知しておいてください。							
オフィスアワー（質問受付時間）：本講義終了後、ただちに受け付けます。							